



令和6年9月6日
第十管区海上保安本部

「測量艦と海上保安庁の測量船」のパネル展開催 ～9月12日は第153回水路記念日です～

153年前の明治4年9月12日、我が国初の海図作製機関である兵部省海軍部水路局が発足し、この日を「水路記念日」としています。

第十管区海上保安本部は、水路記念日にあわせ、鹿児島市立科学館において、海図作製のために現場の第一線で海洋調査を実施する「船」に焦点をあて、近代測量の草創期である明治時代に活躍した海軍水路部時代の測量艦から現在活躍中の海上保安庁の測量船とその成果の一部を展示して紹介します。

1 開催日時

令和6年9月9日（月）～9月13日（金）
午前9時30分から午後6時まで

2 場所

鹿児島市立科学館 2階エントランスホール（見学無料）
所在地：鹿児島市鴨池2丁目31-18
電話：099-250-8511

3 展示内容

- （1）草創期（明治初期）から昭和に活躍した主な測量艦、測量船
- （2）明治初期に作製された海図
- （3）海上保安庁の測量船と現在の海図
- （4）海上保安庁の海洋調査（各種パネル）

9月9日（月）及び9月13日（金）は第十管区海上保安本部職員が展示物の説明を行います。

4 その他

取材の申し込みにつきましては第十管区海上保安本部海洋情報部監理課までお知らせください。

展示物の例

(1) 「明治初期に活躍した主な測量艦」パネルと作成された「薩摩の海図」

草創期に活躍した主な測量艦
(明治時代初期)

第十管区海上保安本部

英国測量艦シルビア号
竣工：明治2年(1867年) 建造：イギリス(ロンドン) 排水：1950トン

日本海軍へ測量技術を伝えたことで知られる英國測量艦。日本政府は、当時の世界最高峰の測量技術を持った英国と日本沿岸の共同測量を遂げた技術協定を締結し、明治2年からシルビア号と第一丁卯(だいいちていぼう)の協同測量を実施した。以降、明治14年まで、精力的に測量を実施した。

第一丁卯(だいいちていぼう)
竣工：明治3年(1867年) 建造：イギリス(ロンドン) 排水：125トン 長さ：34.40m 速力：5ノット

英イギリスで建造された長崎藩の軍艦で、明治3年に政府に献納された。近代化路線となる「薩摩藩」も測量主任として参加し、シルビア号とともに鹿児島、奄美、徳島諸島(約77)の測量を実施した。その結果作成した「薩摩諸島測量図」(1867年)は初めて日本独自の測量図である。

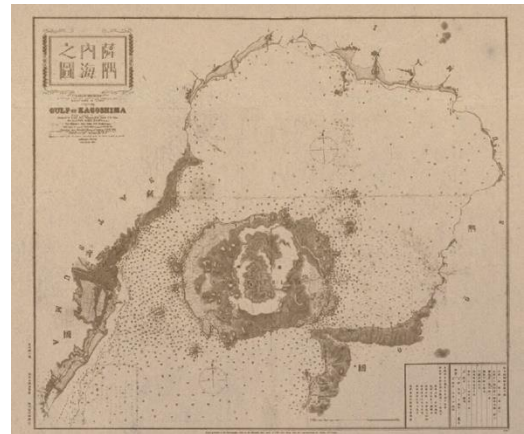
第二丁卯(だいにていぼう)
竣工：明治3年(1867年) 建造：イギリス(ロンドン) 排水：125トン 長さ：37.15m 速力：5ノット

第一丁卯と同時期に建造された。明治5年の明治天皇の西遊と並走の際は、鹿児島域が重なるため、同艦で測量した測量結果を共有しながら測量コース(薩摩にも沿った)の探索を続けた。任務を終えた両艦は鹿児島に帰し、鹿児島と山形藩の測量を行なったこと、明治7年に「薩摩内海測量図」「薩摩諸島測量図」が制作された。

春日(かすが)
竣工：明治3年(1867年) 建造：英国 排水：1,269トン 長さ：72.8m 速力：12ノット

薩摩藩から献納された軍艦で、明治4年に「薩摩藩」が近代化路線となった。北海道の野付、稚穂、津軽、秋田、岩手、青森、山形、新潟、富山、石川、福井、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、奈良、和歌山、徳島、高松、香川、岡山、広島、山口、福岡、佐賀、長門、大分、熊本、鹿兒島、宮崎、鹿児島、沖縄の測量を実施した。明治5年に「薩摩諸島測量図」として制作されたのが薩摩藩の測量図である。

「草創期に活躍した測量艦」パネル



明治初期に作製された鹿児島湾北部の海図

(2) 「海上保安庁の測量船」パネルと現行の鹿児島湾の海図

海上保安庁の大型測量船
第十管区海上保安本部

測量船 光洋(こうよう)
竣工：平成2年(2010年) 建造：三菱造船 排水：4,000トン 長さ：103.0m 速力：17ノット

新築測量船と旧艦に「海上保安庁制艦化に関する方針」に基づき、令和3年に制艦船となる測量船「光洋」が制艦された。本船には、海底下の地形を調査する機軸や海底の水深を採取する機軸が搭載されており、測量船とともにご船の測量結果の調査に活用し、特に航路の維持管理において重要な役割を担っている。

測量船 平洋(へいよう)
竣工：平成2年(2010年) 建造：三菱造船 排水：4,000トン 長さ：103.0m 速力：17ノット

「海上保安庁制艦化に関する方針」に基づき、平成28年12月海上保安庁制艦に際しては、旧艦の測量船「平洋」が制艦された。本船には、海底下の地形を調査する機軸や海底の水深を採取する機軸が搭載されており、測量船とともにご船の測量結果の調査に活用し、特に航路の維持管理において重要な役割を担っている。

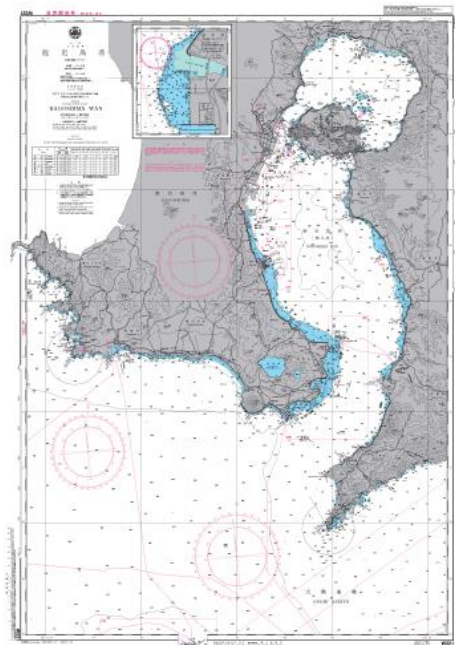
測量船 昭洋(しょうよう)
竣工：平成10年(1998年) 建造：三菱造船 排水：3,000トン 長さ：95.0m 速力：17ノット

測量船と旧艦に「海上保安庁制艦化に関する方針」に基づき、平成10年に制艦船となる測量船「昭洋」が制艦された。本船には、海底下の地形を調査する機軸や海底の水深を採取する機軸が搭載されており、測量船とともにご船の測量結果の調査に活用し、特に航路の維持管理において重要な役割を担っている。

測量船 拓洋(たくよう)
竣工：平成10年(1998年) 建造：三菱造船 排水：3,000トン 長さ：95.0m 速力：17ノット

1992年に導入した測量船と旧艦に「海上保安庁制艦化に関する方針」に基づき、平成10年に制艦船となる測量船「拓洋」が制艦された。本船には、海底下の地形を調査する機軸や海底の水深を採取する機軸が搭載されており、測量船とともにご船の測量結果の調査に活用し、特に航路の維持管理において重要な役割を担っている。

「海上保安庁の測量船」パネル



現在刊行している鹿児島湾の海図 (W221)